

沖縄国際物流ハブの更なる飛躍 「沖縄大交易会プレ交易会」併催事業を開催

かつて海洋国家であった琉球王国が東アジアの交易拠点として繁栄したように、現代はその舞台を更に空にも拡大し、急速に発展するアジア市場と日本を繋ぐ沖縄国際物流ハブ（ANA沖縄貨物ハブ）として機能強化する取組が、官民挙げて進められています。

この一環として、沖縄国際物流ハブを中核とした生鮮食品・加工品等の輸出促進を目指し、海外バイヤー参加数では国内最大規模となる個別商談会「沖縄大交易会プレ交易会（主催：沖縄県 沖縄懇話会）」が11月14日・15日の2日間、沖縄コンベンションセンター展示棟に於いて開催され、沖縄県内外から131社（全国61社、沖縄70社）の出席企業と、国内外のバイヤー102社（海外79社、国内23社）が参加しました。

後藤田内閣府副大臣も開会セレモニーに臨み、「沖縄がその優位性・潜在力をいかし、日本経済活性化のフロントランナーとなるべく引き続き支援していく。」と挨拶しました。

沖縄総合事務局も併催事業として以下のイベントを同時開催しました。



商談会場（奥が個別商談会場、手前が各社展示ブース）
提供：沖縄懇話会

広域アライアンスマッチング

in OKINAWA

ユニークな素材、製品・商品、技術をもつ企業等がプレゼンテーションや展示を通して、これら素材に興味をもつ大手小売業者、商社、サプライヤー、支援機関等とのマッチングを行い、海外展開に向けた商品魅力の向上、高付加価値化を目指す場を提供しました。今回は広域連携モデルとして、経済産業省北海道経済産業局の協力の下、2日間を通じて17団体（北海道5社、秋田1社、沖

縄11社（沖縄県商工労働部（行政含む）がプレゼンテーションを行い、自社商品や技術等を熱心にPRしました。



広域アライアンスマッチング会場（会議棟B）

沖縄版おもてなしサービス提供（琉球スイーツ／沖縄エステ・スパ）

アフターコンベンションの魅力向上を通じ、他地域商談会との差別化、高付加価値化を目指すリゾート一体型国際見本市機能を検討するため、展示棟にて試行的に琉球スイーツ及び沖縄エステ・スパを提供しました。商談の合間を縫ってブースを訪れた

参加者からは、「真剣勝負の商談だけでは疲れてしまうが、このサービスでリフレッシュできた。」等の御意見を多数頂戴し、好評を博しました。（協力：ロワジールホテル那覇／沖縄県エステティック・スパ協同組合）



クリアノール(株)

沖縄総合事務局は、沖縄の持つ様々な強みである「沖縄力」をいかし、交易・交流拠点としての機能強化と更なる発展を遂げるべく、今後「オール沖縄」の一員として積極的に取り組んでまいります。